

## 補助犬の受け入れについて

### ■病院の基本的な考え方

神戸赤十字病院では、身体障害者補助犬法に則り、補助犬（盲導犬・介助犬・聴導犬）をご使用の方が安心して当院をご利用していただくことを基本としています。

補助犬は特別な訓練を受けており、公共施設での同伴が認められています。しかしながら、当院は急性期の患者さんを対象とした病院であり、免疫力が低下した患者さんや様々なアレルギーをお持ちの患者さんも来院されるため、一定の制限を設けさせていただきます。なお、補助犬以外の動物（ペットやセラピー犬を含む）同伴での来院はお断りしています。

### ■補助犬の種類

盲導犬	目が不自由な人の歩行をサポートします。 胴に白または黄色のハーネス（胴輪）をつけています。
介助犬	手や足が不自由な人の日常生活動作をサポートします。 「介助犬」と書かれた表示をつけています。
聴導犬	耳が不自由な人へ音を知らせます。 「聴導犬」と書かれた表示をつけています。

### ■補助犬を同伴して来院される方へ

来院にあたっては、「総合案内」又は「保安室」で補助犬同伴についてお申し出ください。

申し出なしに直接病棟含め院内各部署に行かれるのはご遠慮ください。

必要に応じて「身体障害者補助犬健康管理手帳」や「身体障害者補助犬認定書」の所持、予防接種（3種ワクチン：狂犬病・犬レプトスラピ病、犬パルボウィルス）の有無について確認させていただく場合がありますので、ご了承ください。

### ■補助犬の「同伴できる区域」および「同伴できない区域」

補助犬の同伴ができる区域・できない区域は原則として以下のとおりです。

なお同伴できる区域においても、安全管理上・スペース上または、近くに感染症やアレルギーのある患者さんがおられるなどの状況によっては、同伴をお断りする場合がありますので、病院事務職員などにご相談ください。

同伴できる区域	外来エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正面玄関</li> <li>・ エントランスホール</li> <li>・ 各診療科・採血室待合</li> <li>・ 各診察室</li> <li>・ 生理検査室</li> <li>・ リハビリテーション室</li> <li>・ 相談支援センター</li> </ul>
	共有エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売店</li> <li>・ トイレ</li> </ul>
	病棟エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エレベーターホール</li> <li>・ デイルーム</li> </ul>
同伴できない区域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急外来</li> <li>・ 手術室およびサプライセンター</li> <li>・ 集中治療室</li> <li>・ 病室</li> <li>・ 臨床検査室</li> <li>・ 放射線科（一般撮影・CT・MRI・核医学検査など）</li> <li>・ 外来化学療法室</li> <li>・ 薬剤部</li> <li>・ 栄養課</li> <li>・ 内視鏡センター</li> <li>・ 他、院長が指定するところ</li> </ul>	

■院内で補助犬を見かけたら

補助犬は、使用者のお手伝いをするという大切な仕事を担っています。院内に補助犬をお連れの方がおられる場合は、他の来院中の方々は、静かに見守ってください。

なお、犬アレルギーをお持ちの場合や犬が苦手な方、その他問題に思うことやご不明な点がございましたら、遠慮なく職員にお申し出ください。

神戸赤十字病院 院長